



売上の一部が暴力団追放運動の支援に充てられる自販機を設置

兵庫県遊技業協同組合
『暴力団追放運動支援自販機』の
設置等による地域の安全安心を
図る総合的な暴力団対策の推進」
事業



兵庫県遊技業協同組合
理事長
岡本芳邦さん



暴力団追放兵庫県民大会に毎年、傘下組合員が多数参加

暴力団のいない住みよい社会を
目指して暴力団追放運動を支援

兵庫県神戸市に本拠を構える国内最大の指定暴力団である山口組の傘下組織の一部が離脱し、神戸山口組を立ち上げ、双方の間に対立抗争事件が発生している。過去にも暴力団の組織分裂に端を発した大規模な対立抗争事件が発生し、一般人が巻き込まれるなど、県民生活の脅威となった例もあることから、兵庫県では官民挙げて暴力団排除活動に取り組んでいる。

兵庫県遊技業協同組合（以下、兵遊協）は、暴力団追放運動の趣旨に賛同し、暴力団のいない住みよい社会を目指すことを目的に、公益財団法人暴力団追放兵庫県民センターの活動・運営などに対して2002年から毎年、300万円の財政支援を行っており、その総額は5,900万円に達している。また、同センターが主催する年2回の理事会に兵遊協専務理事が理事として参画し、円滑な暴力団排除運動などの運営支援を行っている。

さらに、県民が一丸になって暴力団追放に向けて開催される暴力団追放兵庫県民大会に毎年、傘下の組合員が多数参加するほか、同センターが作成する暴力団排除ポスターを傘下の各ホールに掲示することで、遊技客への暴力団に対する注意喚起を図るなど、大きく貢献している。支部組合レベルでも、地域で行われる暴力団追放キャンペーンや運動などに積極的に参加し、安全・安心なまちづくりへの協力を行っている。



傘下の組合員ホールに設置された暴力団追放運動支援自動販売機



正面や側面に暴力団追放を訴える標語などのラッピングが施されている

兵庫県淡路市内の傘下2ホールに暴力団追放運動支援自販機を設置

2015年8月の山口組分裂後の対立事件を機に、住民による暴力団排除活動が活発化しているが、兵遊協ではさらなる地域社会への貢献策を検討するなかで、暴力団追放兵庫県民センターが「暴力団追放運動支援自動販売機」の設置に協力する事業者を募っていることを知った。この自販機は缶コーヒーやペットボトル飲料などを販売する一般的なものだが、その正面や側面に暴力団追放を訴える標語などのラッピングが施されているのが特徴であり、その売上の一部が同センターに入り、そこから県内各地で活動する暴力団追放組織の支援に充てられるというものである。

兵遊協では、傘下の組合員ホールに暴力団追放運動支援自販機を設置し、目に見える形で遊技客や一般住民に暴力団追放を訴えるとともに、暴力団追放組織への支援を検討することになった。まず、自販機の設置候補地を議論した結果、最初に設置するのは、社会性や住民へのインパクトなどを考え、神戸山口組の本部がある淡路島が適当であるという結論を得た。また、設置に際しては、自販機の側面に「兵庫県遊技業協同組合」と明記するよう要望することにした。

淡路島には現在、13のホールがあるが、そのなかから神戸山口組が本拠を置く淡路市志筑に近い場所にあるホールに的を絞り、自販機設置の趣旨を伝え、協力を依頼した。その結果、淡路市竹谷の「パチンコ津名ホワイトハウス」、同市久留麻の「C-RIZE 東浦店」の2ホールに各1台ずつ、自販機を設置することになった。設置は2017年1月23日に完了した。この件に関して県警や兵遊協が広報を実施した結果、神戸新聞や読売新聞に掲載されたほか、ラジオ関西やサンテレビで取り上げられ、大きな反響があった。兵遊協では、今後も暴力団追放運動支援自販機の設置に向けた働きかけを積極的に行っていく予定である。